

DV (ドメスティック・バイオレンス) とは

配偶者や恋人（婚約者・同棲相手・恋人・元恋人）など、親密な関係にある相手から振られる暴力のことです。

身体的暴力ではありません。
様々な暴力で、相手を思いのままに支配しようとします。

身体的暴力

殴る・蹴る・首をしめる・髪をひっぱる など

精神的暴力

大声で怒鳴る・脅す・何を言っても無視する など

社会的暴力

携帯電話をチェックする・外出を制限する など

経済的暴力

生活費を渡さない・お金を取り上げる・外で働くのを嫌がる・借金を重ねる など

性的暴力

望まない性的行為を強要する・避妊に協力しない など

子どもを利用した暴力

子どもの前での暴力や暴言・子どもに危害を加える・子どもを取り上げようとする など

デートDVとは

DVは、大人だけの問題ではありません。
恋人や交際中の中高生や大学生など、特に若い世代の男女間に起こる暴力のことを、デートDVと言います。

《例えば、こんなことはありませんか？》

- ◇ 携帯をチェックし、異性の友達のアドレスを消せと言われる。
- ◇ LINEやメールの返事が遅いと怒られる。
- ◇ 思い通りにならないと、責めたり脅したりされる。
- ◇ たびたび連絡をしてきて、行動をチェックされる。
- ◇ 無理やり性的な行為をされる。
- ◇ とても優しい時と嫌な態度をとる時の差が極端。

DVにはサイクルがあります

暴力の後に、うって変わって優しくなる加害者に「やり直せるかもしれない」「私さえ気をつければ」と、思ったことはありませんか？
無意識のうちに、コントロールされているのかもしれない。



DVは子どもへの影響も・・・

直接子どもが暴力を受けるのはもちろん、暴力を身近で見聞きすることも、子どもに大きなストレスを与えます。

POINT!

DVを見聞きさせることは児童虐待であると法律で明記されています。

DVについて、自分を責める子どもも少なくありません。



子どもは、暴力の環境にさらされると、感情表現や問題解決の手段として、暴力を用いることを習得してしまうこともあります。

しかし、暴力を受けた子どもの全員が、大人になって暴力的になるとは限りません。人は、傷を受けても回復する力があります。

できる限り、暴力の傷を最小限にとどめ、一刻も早くあなたと子どもが、安心して安全な環境で暮らせる事が大切です。

丹波市家庭児童相談室

お子さまの健やかな成長のために、あらゆる問題について相談に応じます。
ひとりで悩まず、まずご相談ください。
一緒に考えましょう。

TEL 0795-88-5271